

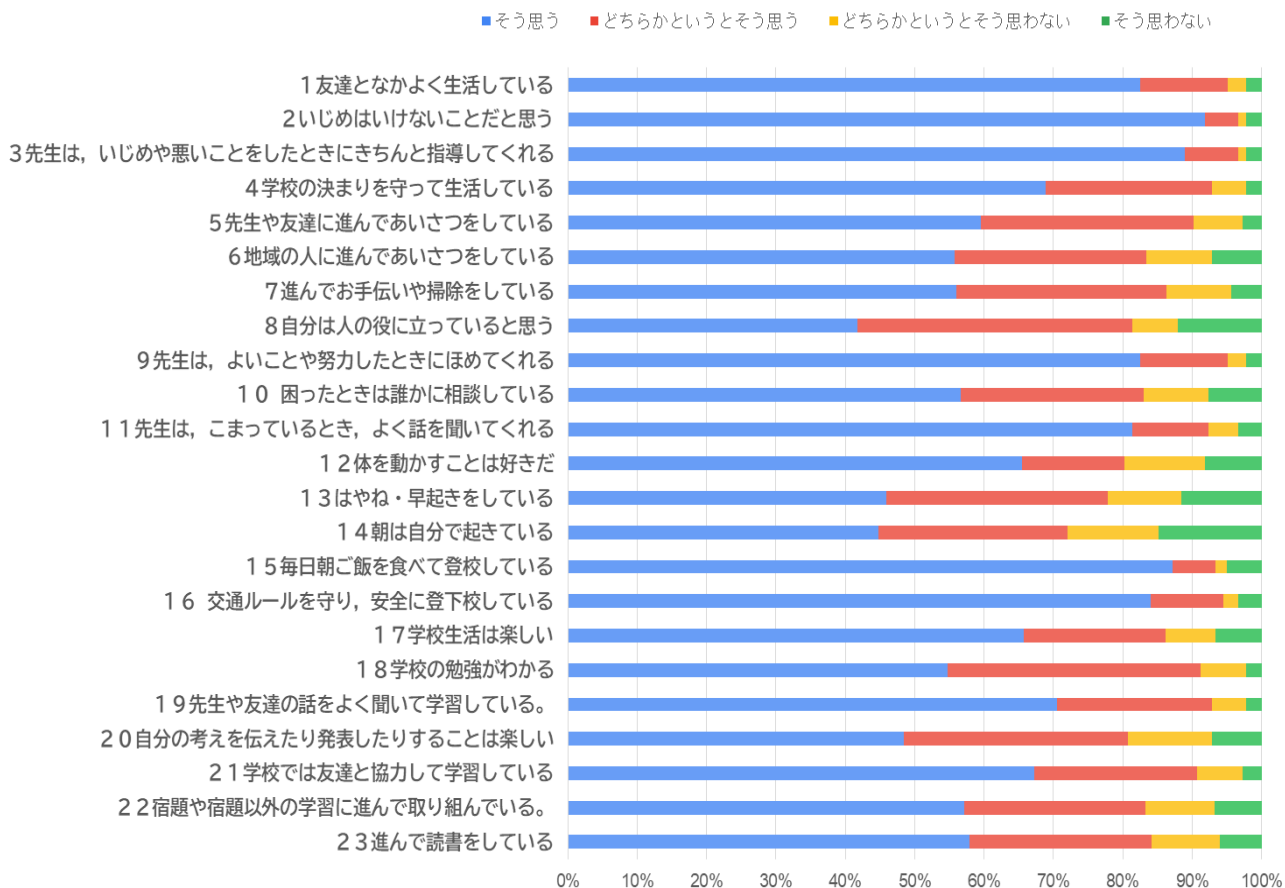


## 学校生活アンケート（児童）結果

学校ホームページです。ご覧下さい。↑

### 児童アンケートの結果

学校生活アンケート（7月）



### <考察と改善点> ○:成果 ●:課題

- 9割以上の児童が友達と仲良く生活し、いじめはいけないことであるという認識をもっています。いじめはいけないことについての指導を今後もしっかりと行っていきます。
- 児童の自己有用感は徐々に上がってきています。児童が主体となる活動や体験活動を活発化し、アウトプットしていきます。
- 「先生は困った時によく話を聞ってくれる」については高評価です。しかし、「困っている時には誰かに相談している」については、やや低い。「心の健康アンケート」フォームの更なる活用と、SOSの出し方について指導していきます。
- おおよそ学校は楽しいと思って生活しているが、楽しくないという児童への配慮が必要と思われます。行事をコンパクトにするだけでなく、子供が十分に楽しめ満足できる濃い活動となるよう努めます。
- 学校での勉強がわかる児童は91%いますが、学力向上に課題が見られます。わかったつもりになってはいないか、基礎基本の定着について、少人数指導や習熟度別指導の実施、AIドリル学習履歴の確認を通し、個別最適な学びを促進していきます。
- 学校での挨拶は向上しています。教師の手本は勿論、児童の主体的な活動の一つである「あいさつ相撲」の活動を工夫し、継続していきます。地域の人、例えば、交通指導をしている方・来校している大人など具体的に考えたり指導したりしながら挨拶の向上に努めていきます。